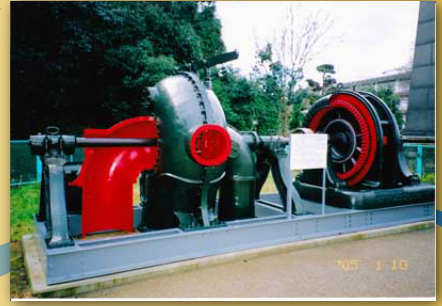


ぎふ

揖斐郡春日村の小宮神発電所で発電に使われ、岐阜に73年間電気を送り続けた水車発電機



発呼者が磁石式電話機のハンドルを回すことにより発電し、交換機へ発呼を知らせるしくみを持つものが「磁石式手動交換機」と呼ばれています。

美濃市立花の長良川右岸に1910年(明治43年)建設した水力発電所



産業遺産



2021年2月26日(金)

18時30分～・参加無料

会場：オンラインもしくはハートフルスクエア G

講師 **稲生 勝** 岐阜大学教授
国民のための情報通信を守る岐阜県民の会 会長
岐阜産業遺産調査研究会 会長

現在、5G、スーパーシティ、デジタル庁など、国民のための情報通信を守るという観点から無視できない問題が山積しています。そうした問題の追求には今後とも取り組んでいきたいと思っておりますが、今回は、会員の中からも要望もあり、少し原点に戻って技術の在り方を考えるため、具体的な技術史上の遺産を見ていく機会をもちたいと思っております。

技術史を考えると、決定的に重要な出来事は産業革命です。産業革命とは、技術的には道具から機械への転換であり、これによって資本主義が確立していくことを指します。この産業革命を現存している産業遺産から検討する学問分野を産業考古学と言います。

今回は、産業遺産の宝庫と言ってもいい、岐阜県の産業遺産を紹介しながら、資本主義の確立過程を考え、さらには、その保存を訴える運動も紹介したいと思います。

主催：国民のための情報通信を守る岐阜県民の会

〒500-8879 岐阜市徹明通7-13 岐阜県教育会館402(岐阜県労連気付)

TEL 058-252-3013 / メール gifu.lc@gmail.com

オンライン開催につき、メールアドレスをお知らせください。QRコードから送信できます。



め

オンライン

学習会

